

令和4年度 津嘉山小学校グランドデザイン

教育目標

- よく考え自ら学ぶ子（知）
- 心豊かで思いやりのある子（徳）
- 元気な明るい子（体）
- 郷土を愛し進んで働く子（意）

重点目標

聴き合い・学び合う子の育成
相手の話を尊重して聴き、助け・支え合いながら学ぶ子

実践事項

聴き合い・学び合う授業の実践

- ◇ペア・グループ学習を一単位時間の授業の中に積極的に取り入れる
- ◇発問・問い返しの工夫により思考を深める授業に努める
- ◇つぶやきや発言を、友だちやテキスト等に「つなぐ」ことを意識する
- ◇児童がつまづいているときは、テキストや課題・グループ等に「もどす」ことを心掛ける
- ◇ジャンプ問題（難しい課題）に積極的に挑戦させる
- ◇ICTを積極的に活用する

日課の各時間の充実

- ◇読書活動の継続（朝の読書・読み語り）
- ◇給食準備・給食・片付けのルールの確立
- ◇自問清掃の実践
・がまん玉・みつけ玉・しんせつ玉を磨く
- ◇ハッピータイムは、遊び・交流・運動に親しませる等の時間とする
- ◇授業や活動前の黙想の継続
- ◇教室移動の際、廊下を静かに歩く
- ◇会議時間の短縮
- ◇教材研究・校務分掌遂行時間の確保

校内研修の充実

- ◇教師の専門性を磨く（各教師が自分の研究テーマを持ち、授業実践を通して検証する）
- ◇全教諭の公開授業による授業力の向上を図る
- ◇教師同士で研鑽する雰囲気を作り、児童理解・授業公開・資料提供等に努める

安心して学び合える学級・学校経営

- ◇児童同士や児童と教師の対話で信頼関係を築き、相手の話を大切に聴く態度の育成を図る
- ◇自分のよさ・相手のよさに気付かせる活動の充実に努める
- ◇困ったことがあったら自分から依存できる子の育成を図る
- ◇QUテストを定期的実施し、その活用により児童一人一人にあった対応に努める
- ◇教師は児童を「さん」付けで呼ぶようにする
- ◇怒鳴らない指導を心掛け、人の心（人権）を傷つける行為には、毅然として指導する

校内環境の充実

- ◇学ぶ環境（教室）の整理・整頓に努める
- ◇玄関の靴箱（靴の入れ方）、トイレ掃除、ごみ置き場の保清に努める
- ◇校舎内・校庭にゴミの落ちていない、常にきれいな学校にするように努める
- ◇自分の持ち物や学校の施設・備品を大切に使う子の育成を図る
- ◇花壇・プランター・樹木の整備・管理に努め、花や樹木に触れる機会を多く持つようにする

家庭・地域・保幼との連携

- ◇家庭・地域と連携して、あいさつ・言葉遣い・公共施設利用マナーの向上を図る
- ◇早登校・徒歩登校の奨励
- ◇家庭読書の奨励（ファミリー読書）
- ◇家庭学習の充実（宅習ノート、宿題）
- ◇保幼小連携活動の推進
- ◇地域人材の活用（学校応援隊）

日常的・計画的取組・PDCサイクル

信頼される学校づくり

児童にとっても、保護者・地域にとっても、教師にとっても魅力ある学校へ